

川上ダム通信

2021

4
月号



Vol. 188
Since 2005

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)

川上ダム通信は川上ダムホームページでもご覧いただけます。
<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami> 又は「川上ダム通信」で検索
(右の QR コードを読み取っていただくと川上ダムホームページへ移行します。)



川上ダム公式 Twitter で工事の進捗状況やイベント情報を随時更新中!
https://twitter.com/jwa_kawakami

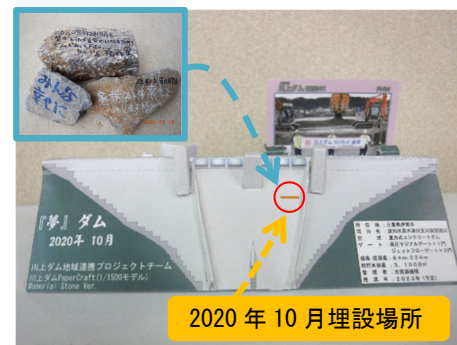
ご意見・ご感想はこちらへ
<mailto:somu1@lily.ocn.ne.jp>

川上ダム地域連携プロジェクトチーム活動報告 ～コロナニマケズ～

川上ダムを周辺地域の活性化に役立ていただくための取り組みとして、令和元年9月より伊賀市役所、商工会、観光協会および川上ダム建設所のメンバーを中心とした『川上ダム地域連携プロジェクトチーム』(以下「地域連携PT」)が発足し活動を行っております。今年度の活動報告として取り組みの一部をご紹介します。

メモリアルストーン

ダム堤体コンクリートの材料となる石(骨材)にそれぞれの夢を書いてもらい、ダムの一部として埋設することで川上ダムを”日本一『夢』の貯まるダム”にする取り組みを行っています。また、メモリアルストーンがダムのどの位置に埋設されているのか分かるというのは全国初の取り組みであり、青山ハーモニー・フォレストのHPでは埋設位置が印されたダムのペーパークラフトもダウンロードできます。既に150名を超える方々にご参加いただいております、「みんなが健康に暮らせますように」などの願いが書かれた石がダムに埋設されました。



川上ダムペーパークラフト



川の記憶モニュメント制作中

川の記憶モニュメント

川上ダムは前深瀬川と川上川の2つの河川が合流してダムに流れ込みますが、ダムに水が貯まると川の道が分からなくなるため、前深瀬川と川上川の中心に位置する青山ハーモニー・フォレストの芝生広場に2つ川を再現した「川の記憶モニュメント」を制作中です。このイベントは誰でも参加でき、今年の秋頃まで開催しています。参加方法などの詳しい情報は青山ハーモニー・フォレストのHPをご覧ください。

川上ダムトートバッグ

ダムに関連する地域のお土産として、地元伊賀で活動されている「パンダさん工房」にデザインを依頼し、川上ダムをモチーフにした可愛いデザインのトートバッグ「川上ダムトートバッグ」が完成しました。令和3年4月から販売されるようで、今から待ち遠しいです。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、人を集めてのイベントができないなど困難な状況でしたが、地域連携PTメンバーでアイデアを出し合い、地域の活性化を図ってきました。今後はダム完成後も続いていくようなワクワクする取り組みを行ってまいります。

【機械課 後 雄貴】



川上ダムトートバッグ

選択取水設備扉体の工場製作が完了！

選択取水設備の扉体の工場製作が完了しました。今回は川上ダムの選択取水設備で採用している直線多段式ゲートの特徴について紹介します。

(選択取水設備の取水蓋および制水ゲートの役割については、令和2年12月号で紹介しています。)

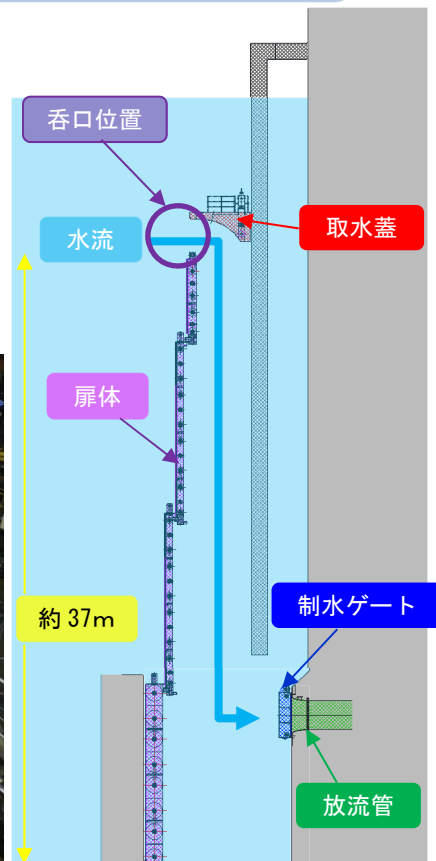
直線多段式ゲートとは、複数の扉体(川上ダムでは4枚のゲート)を右の図のようにすだれ状に配置し、この扉体が上下に戸溝を移動することにより呑口位置(取水位置)を変化させ、任意の水深から取水することができる設備です。

工場において、設計図どおり製作されているか確認する寸法検査や溶接箇所品質を確認する溶接検査を行いました。扉体は、令和3年3月末から順次据付を開始する予定です。これからも安心・安全に設備工事を進めてまいります。

【機械課 下園英世】



扉体のようす (3月末搬入予定)



選択取水設備のようす

高圧受変電設備・予備発電機の工場製作完了

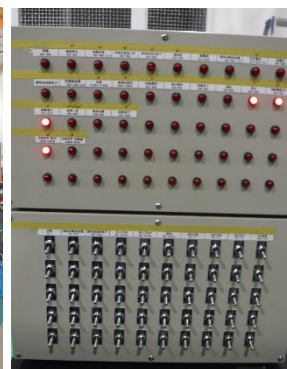
ダム管理所が電気を受電するために必要な「高圧受変電設備」および電力会社で停電が発生した場合でも確実に安定した電気を確保するために必要な「予備発電機」の工場製作が完了しました。

高圧受変電設備は、電力会社から6600Vで受電した電気を440V、200V、100Vと設備に合わせて変圧を行い、各種管理設備や管理所内の照明・コンセントなどへ電気を供給する重要な設備です。

今回、香川県高松市の工場で製作を行いました。工場検査では模擬の故障信号、運転信号などを出力できるテスト試験機を使用し、内部の回路が正しく作動するか検査しました。



受変電設備 (工場検査)



テスト試験機



予備発電機 (パッケージ型)

予備発電機は、三重県鈴鹿市の工場で製作を行いました。トラックと同じディーゼルエンジンが使われているため運転時はかなりの騒音が発生します。川上ダム管理棟の周辺環境にも配慮し、エンジンを「パッケージ」と呼ばれる金属製の箱で覆い、排気管はサイレンサーで消音することで、運転時に発生する騒音の抑制を図っています。川上ダム管理棟室内においても吸音材を用いた騒音抑制対策を行っています。

これらの設備は令和3年4月下旬の受電開始に向けて、3月下旬からダム管理所へ搬入・据付を開始します。

【機械課 伊藤 大】

工事箇所のオオサンショウウオ調査



川上ダムを建設している前深瀬川とその周辺の河川には、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオが広く生息しています。

当建設所では、湛水予定区域の河川内工事を行う場合、改変の直前にオオサンショウウオの調査を実施し、確認された個体を上流に移転しています。*

直近の調査では、令和3年2月18日（木）から19日（金）にかけて、流入水バイパス建設工事において有識者の立会のもと実施しました。調査はオオサンショウウオを確実に見つけれられるよう、河川の水抜きや大きな石を重機でめくった結果、4体の成体などを保護し、上流に移転しました。（流入水バイパスについては、川上ダム通信令和3年3月号「川上ダムのいま」で紹介しています。）

今後も環境に十分配慮し、ダム建設事業を進めてまいります。

※オオサンショウウオの調査および移転は、文化庁の許可を得て実施しています。 【環境課 戎谷大和】



流入水バイパス建設工事における調査



調査で見つかったオオサンショウウオの成体

チェーンソーの特別教育を受講しました

機構職員は事業用地内で支障になった倒木などを処理するため、チェーンソーを使用することがあります。

労働安全衛生法では、事業者がチェーンソーを用いて行う立木の伐木、かかり木の処理又は造材の業務に就かせる場合は、安全又は衛生のための特別の教育を行わなければならないとされています。

そこで、令和3年2月17日（水）から19日（金）までの3日間にわたり、当建設所職員3名が津市および松阪市でチェーンソーの特別教育を受講してきました。



特別教育は広い会場で行われました

チェーンソーの取り扱いを間違えると、刃が作業者へ向かって跳ね返り、怪我する危険性があります。また、木を倒す方向を間違えると、作業者がある下敷きになる危険もあります。筆者も講習で扱ってみた結果、チェーンソーの扱いは難しく、十分注意しなければならない機械であることを実感しました。

当建設所では、今後も安全を第一に、無事故で事業が推進されるよう安全教育に取り組んでまいります。 【用地課 近藤 扶】



講師からチェーンソーの使い方を教わっています



令和3年度の予定工事

川上ダム建設所において令和3年度に実施を予定している主な工事は以下のとおりです。



■本体関係

①ダム本体

コンクリート打設を春頃に終了させ、引き続きダムの堤頂設備などの整備を行います。

また、取水放流設備、常用洪水吐き設備の据付を終了させる予定です。

②流入水バイパス

ダム下流のオオサンショウウオなどの生物の保全を目的として、温水放流を低減するため、川上川上流の水をダム下流に直接放流する流入水バイパスを、引き続き整備します。



■貯水池内関係

前深瀬川上流および上川原地区の周辺整備、ダムの管理用道路の整備を行い、貯水池内にあるタワークレーンの撤去などを行います。

■管理設備関係

ダム右岸側で建築中の管理棟を完成させ、管理で必要となる電源設備、放流警報設備などの通信設備、気象・地震・堤体の観測データを収集するための観測設備、貯水池の水質を保全するための水質保全設備、係船設備、流木止設備などの据付を完了させる予定です。

また、再生エネルギーの有効活用を目的とした水力発電を整備します。



ダムの人

令和3年度は本体関係工事、管理設備工事などが完成し試験湛水を開始する予定です。

工事関係車両は少なくなりますが、引き続き地元車両優先と安全運転第一に事業を推進してまいりますので、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

～本体工事の進捗状況～		完了	施工中	未実施
転流工 H30.4▼ H30.9▼ 仮排水路 仮締切工 トンネル	基礎掘削 H31.4▼	堤体打設・基礎処理 堤体打設進捗率96.8% (2月末時点) 基礎処理進捗率51.9%	▼現在 ▼R3.10	試験湛水 ▼R3.10
				完成! (R5.3予定)

【工務課 鈴木和春】

川上ダム工事現場見学会のご案内

川上ダムでは、事業に対する理解や興味をより深めていただくため、毎月第3日曜日に、午前・午後の二部構成で、工事現場見学会を予定しています。詳しくは当建設所HPをご覧ください。



4月1日より募集開始!

【第30回】

令和3年5月16日(日)

【第29回】令和3年4月18日(日) 満員御礼

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、中止とさせていただきます。

編集後記

令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、多くのイベントなどが中止となり、川上ダム通信記事においても記事の選定に大変苦労した一年間でした。

新型コロナウイルスの感染状況が早く落ち着き、イベントなどが開催され、その内容を地域の皆さまにお伝えできれば幸いです。

令和3年度も新たな広報誌発行事務局でダムの情報や地域の情報をお伝えしてまいりますので、引き続きご愛読のほどよろしくお願いいたします。

【広報誌発行事務局】

編集長 淵上 (所長)
デスク 堀口 (総務課長) 渡辺 (工務課長)
記者 山口 (総務課) 近藤 (用地課) 北爪 (調査設計課)
 戒谷 (環境課) 山田 (工務課) 渡邊 (工事課)
 下園 (機械課)